

# 日本共産党川口市議団から松本幸恵市議と板橋博美市議が一般質問します

日本国憲法のもと、地方政治は、それぞれ選挙で選ばれた首長と議会の二元代表制となっています。首長のもとに議会があるのではなく、議会は首長と対等の立場であり、議会全体として権能を持ち、議決や監視の役割を果たします。ですから議会傍聴は市政を知る上で大切な取り組みです。特に一般質問は各議員が質問を通して市政の課題を明らかにしたり、市政に対して提案をする場です。インターネット中継もされます。松本幸恵市議は10日(月)10時から、板橋博美市議は12日(水)13時からです。

## 【松本さちえ】 一般質問

### 1 市民のくらしを守るための市政運営に

- ① 物価高騰に対応した市の施策を
  - ア 小規模事業者登録制度での発注金額の見直しを
  - イ 学校給食費の保護者負担軽減について
- ② 地方債の活用と償還について
  - ア 令和7年度借換債発行の理由と、当時と現在の利率について
  - イ 地方債残高の増加について

### ③ 川口駅周辺再整備への事業費圧縮を

### 2 非正規自治体職員の処遇について

- ① 会計年度任用職員の継続について
- ② パートタイム会計年度任用職員の時給引き上げを

### 3 国民健康保険制度について

- ① 令和7年度以降の納付金の見込みと国民健康保険税への影響について
  - ア 納付金の推移と今後の見通しについて
  - イ 医療費の推移について
  - ウ 今後の国民健康保険税改定の見通しについて
  - エ 国民健康保険税軽減に必要な国の支援拡充を求めること
- ② マイナ保険証により受療権を奪うことの無いように対応すること

### 4 障害者の医療体制を整えるために

### 5 誰でも利用できる医療・介護への支援策を

- ① 医療機関への支援について
- ② 介護従事者の確保の取り組みについて
- ③ 安心して介護サービスを利用するために
  - ア 申請から認定までの期間の推移について
  - イ 期間短縮のための取り組みについて
- ④ 介護施設等での業務継続計画(BCP)の策定について

### 6 こどもを大切に作る保育を

- ① 保育士配置基準の改正に伴う配置状況について

- ② 処遇改善の取り組みの拡充について

- ③ こども誰でも通園制度について

- ア 令和8年度からの実施に向けた取り組みについて
- イ 保育の質の確保について

- ④ 保育所等の給食費の負担軽減を

### 7 教育環境の充実について

- ① 小学校体育館や日本語教室への空調機設置を

- ア 体育館への空調機設置に向けた方策について
- イ 日本語教室へのエアコン設置を

- ② 教員の定数を増やし、残業代支給を認める制度に

- ③ 学校職員の体制充実のために

- ア 教員の欠員への対策について
- イ 学校図書館司書の一人一校配置を

- ウ 教職員の駐車使用料の見直しを

- ④ 部活動の地域移行について

- ア 地域のスポーツ・文化芸術団体との環境整備をどう進めるのか

- イ 教員の負担軽減と生徒の部活動による教育目的の達成をどう進めるのか

### 8 防災事業の推進について

- ① スフィア基準での災害用備蓄の整備について

- ② 戸建て住宅耐震化への施策拡充について

- ③ 緊急浚渫推進事業債の活用について

### 9 消費者安全確保地域協議会の設置を

### 10 中青木公園内のテニスコートについて



金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2025年3月9日

No.1781

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川 2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

## 日本共産党が意見書案を作成

インボイス制度については、中小零細業者にとって複雑な事務や新たな税負担がうまれていることから、埼玉県議会でもインボイス制度廃止の意見書が可決しました。中小零細業者が多い川口市においても、こうした意見書を国に対して出すことが必要なのではないでしょうか。

### 消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止を求める意見書(案)

2023年10月に導入されたインボイス制度では、インボイス発行事業者ではない事業者からの仕入れでは税額控除ができないことから、免税事業者はインボイスの登録事業者となることを迫られ、厳しい経営にさらに税負担と事務負担を与えることとなっている。消費税の制度は赤字であっても負担を伴うもので経済再生を阻害する要因ともなる。

さらに、今年の納税対象は3か月分で、しかも経過措置として仕入税額控除8割があるが、今年は1年分となり、また8割の控除は2026年9月まで、それ以降3年間は5割控除、2029年10月から仕入税額控除はなくなる。このままでは、多くの小規模事業者などの経営が成り立たなくなることが危惧される。物価高騰により経営環境は一層厳しさを増しており、インボイス制度にかかる負担を小規模事業者に求めることができる状況ではない。2023年の企業倒産は8,497件に達し、前年(6,376件)を2,000件以上も上回り、コロナ支援策の縮小に加え、物価高や人手不足等によるコスト増に耐え切れなくなった中小企業の倒産が急増し、とくに12月(806件)は2023年で最多となった。(帝国データバンク2023年報)

コロナ禍・戦争・物価高が襲う今、インボイス制度の開始は多くの中小企業にとって死活問題であり、インボイス制度は、売上1,000万円未満の免税事業者に増税の状況を作り出している。小規模事業を営む方からは「2024年3月の確定申告では30万円納税額が増えた。来年はおよそ80万円になる。廃業するしかない」「免税業者なので消費税分を勝手に値引きされる」という実態があり「経過措置がなくなるとさらに追い込まれる人が増える。このままインボイスを続けていいのか考え直すべきだ」との声もあがっている。小規模事業者等の経営の持続化や県内および川口市内の経済の活性化の重要性から、インボイス制度そのものを廃止することが最良の策である。

よって、国においては、消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止をすよう強く求める。

### 【板橋ひろみ】 一般質問

#### 1 移動の自由が保障される地域公共交通へ

- ① 交通権・移動権の理念を取り入れた地域公共交通へ
- ② コミュニティバスの路線見直しにかかわって
  - ア 地域住民の状況把握等について
  - イ バス事業者等の調整について
- ③ デマンドタクシーの実施について
- ④ バス運転手の処遇改善と確保策について
- ⑤ 高齢者が安心して外出できるようシルバーパスなど福祉施策を
- ⑥ 安心・安全に利用できる公共交通の拠点施設の改善策を
  - ア バス停留所の安全性確保対策について
  - イ 駅利用者の安心・安全のための対策について
  - (7) J R 東川口駅のホームドア設置と風雨対策について
  - (8) S R 戸塚安行駅利用者の風雨対策について

#### 2 ごみ焼却中心から資源循環の促進を

- ① プラスチック使用製品廃棄物の削減に向けた取り組みについて
- ② 生ごみの減量につながるコンポストの推進について
- ③ リチウムイオン電池の火災を防ぐ対策について
- ④ 現業職員の増員を

#### 3 埼玉県の下水道施設の老朽化に伴う事故にかかわって

- ① 事故に伴う本市での下水道管の緊急点検について
- ② 市が管理する下水道施設の老朽化対策について
- ③ インフラ整備は独立採算ではなく国の責任で財源保障を行うこと

#### 4 だれもが学べる川口市立高等学校に

- ① 定時制課程を募集停止とした経緯について
- ② 学校説明会での意見を尊重すること
- ③ 川口市立高等学校定時制課程の存続を

#### 5 地域の問題

- ① 戸塚体育館の利用団体の活動の場を確保すること
- ② 旧戸塚支所跡地を市民の活動場所として活用すること

